

企業ニュース

漁船、養殖場などで活躍

小型の海水淡水化装置

ワイズグローバルビジョン(株)

コンパクト・操作簡単

ワイズグローバルビジョン(株)が製造販売する世界最小クラスの海水淡水化装置「オーシャンピュア」の水産業界での導入、引き合いが続いており、近く搭載され稼働を



コンパクトで高性能の海水淡水化装置

も高かった。船具店なども関心を高めている。コンパクトで軽量、持ち運びが楽々。しかも簡単な操作でおいしいミネラル水が確保できる、価格も安いというのが特徴で、漁船、養殖場、水産加工場など水産業界での活用が始まっている。漁船では洋上泊の操業もあり、飲料水確保や体洗い、洗濯用水などに活



「オーシャンピュア」で得られる水は厚生労働省が定める水道水の基準をクリアしており、塩化ナトリウム(塩分)は99.9%以上除去。離島や防災備蓄、アウトドア用にも最適で、沖縄化石サンゴなどによりミネラル飲料水が得られる。港灣土木工事に使う自走式作業船では、コンクリート冷却のために使っていた毎月の水道代が半分にになり、波力発電に伴う熱冷却のために同社

海水淡水化装置「オーシャンピュア」が納入される漁業取締船・白鷺

「ワイズグローバルビジョン(株)」は、東京本社、東京都渋谷区渋谷1-7-5、青山セブンハイツ1006、03-6427-3697(沖縄本社) 沖縄県うるま市勝連南風原5192-47、098-923-1143、FAX 098-922-11872

る。沖縄県のソデイカ漁船に導入されたのに続いて、鹿児島県の養殖業者にも採用された。昨年末には水産庁の漁業取締船「白鷺」にも納入が決まり、カツオ漁業者の関心も高かった。船具店なども関心を高めている。

漁業取締船にも納入

漁業取締船・白鷺は従来使用していた装置の効果がよくなかったことから、同社装置を採用することになった。

躍。いちいち水確保のため港へ帰ることもなく効率的な操業に役立っている。小型マクロ漁船でのテストも始まった。同社ではいろいろな能力の装置を揃えており、漁船の大きさ、操業形態などに合わせて選択でき、活用範囲も広がっている。柳瀬良奎社長は「各方面から関心を寄せていただいている。水産業界にもお役に立てる」と語っている。今月中旬に川崎市で開催された「国際環境技術展2017」で装置を紹介した。海外から20人近くの関係者が視察に訪